

シャッターアートの制作

はじめに

グラフィックデザイン班では昨年のシャッターアート作業中に中嶋町獅子舞保存会より依頼を受けた、獅子組鬘付け小屋のシャッターアートに取り組みました。

デザイン決定

獅子舞保存会のみなさんと、鬘付け小屋の持ち主の方と打ち合わせを行い、依頼者側からは行列の絵巻を入れてほしいとの要望がありました。小屋の持ち主の方はあまり乗り気ではない様子でした。



下描き

またデザイン決定後は夏になっており、日没を待つことは現実的でなかったため下描きをプロジェクター投影することができませんでした。そこで日陰を作り、8分割した下描きを転写すること作業現場は道路に面しておトラックなどの交通量が多いプロジェクターを使用しました。分割して描いたためミスが発生し、デザイン案と比率が違う場所が出てしまい後に描き上げる方法で違和感なく仕上げることができました。



としました。また今回の日中はダンプカーやトラックだったので焦点距離の短に解像度の設定などでミミましたが、獅子のみを最

色塗り

まずは背景を塗りすすめ、その後行列や獅子の文字などを塗り進めました。最後に獅子を描き込み、行列の仕上げを行いました。初めてシャッターに色塗りを行いましたが、目地で見えない部分などの塗り残しが無いように気をつけて塗りました。



まとめ

今回江戸時代から続く歴史ある古民家にシャッターアートを描くことなり、家主さんの「そのままでもいいんだけど」というムードからのスタートとなった今回のシャッターアート。制作期間中は毎日声をかけ、そしておやつを出してくれる近隣の方々に感謝しながらの作業となりました。色塗りの途中段階までは「獅子が良くわからない」と少し不満げな家主さん。「ぜったいに喜んでもらえる作品に仕上げるぞ!」とみんなで決意して最後まで集中して取り組みました。完成に近づくにつれ家主さんに「素晴らしい作品」と喜んでもらったことはとても大きな達成感を感じることができました。取り組みは熊本日日新聞の朝刊や、やつしろプレスに掲載いただきご好評をいただきました。次年度は流鏝馬保存会のシャッターアートに取り組む事が決定しています。シャッターアートの取り組みに八代市からの予算もでる話もでており、次の展開が楽しみです。

